

RIETI EBPM シンポジウム
エビデンスに基づく政策立案を進展させるために

講演

大竹 文雄
大阪大学大学院経済学研究科教授

2019年12月25日

主催:独立行政法人経済産業研究所 (RIETI)

防災におけるナッジの活用

大竹文雄（大阪大学）

広島県の防災取り組み

- 2014年に土砂災害で77人の命が失われた後、「みんなで減災」県民総ぐるみ運動
 - 身近な災害の危険や避難所の場所を「知る」、気象情報や避難勧告で災害発生危険性を「察知する」、避難所や安全な場所に避難するといった「判断して行動する」など五つの行動目標
 - 住民が災害と避難活動の実態を「知る」ことに重点
 - 避難所や避難経路を確認した住民の割合は、2014年の13.2%から2018年には57.2%へと大きく向上
- 2018年7月の豪雨災害で避難した人の割合は0.74%に過ぎなかった。
 - 114名もの死者・行方不明者

広島県「みんなで減災」 県民総ぐるみ運動とは



「災害に強い広島県」の実現を目指し、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織等、事業者、行政等が一体となって取り組む運動です。

運動に取り組む主体は

県民一人一人、自主防災組織や地域における活動を行う方々、事業者、行政など、みんなが主体です。

運動を進めるために

- 広島県は、県民、自主防災組織等、事業者、市町が参画した推進体制を整備します。
- 広島県は、運動を総合的かつ計画的に推進するため、行動計画を策定します。

広島県では、防災・減災対策をこれまで以上に強力に推進していくことに加え、県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう取組を進めています。



お問い合わせ 広島県危機管理監
〒730-8511 広島市中区基町10番52号
TEL: (082) 513-2781 FAX: (082) 227-2122

広島県みんなで減災 検索

広島県 「みんなで減災」 県民総ぐるみ運動

災害から命を守るための行動

①知る

身の周りの災害危険箇所
などを知ろう。

②察知する

災害発生の危険性を
いち早く察知しよう。

③行動する

自ら判断して適切に
行動しよう。



普段から災害に備えるための行動

④学ぶ

防災教室や防災訓練などに
参加して災害から命を守る
方法を学ぼう。

⑤備える

非常持出品を準備するなど
災害に備えよう。

広島県では、「広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動条例」を制定し、平成27年4月から、県民みんなで「災害死ゼロ」を目指す取組を進めています。



広島県

県民、自主防災組織等、
事業者、行政等で取り組もう！

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動



5つの行動目標

県民・自主防災組織などの皆様をお願いしたいこと

アクション1

身の周りの
災害危険箇所などを

知ろう



- 身の周りの災害危険箇所を知りましょう。
 - 土砂災害や洪水などの危険がないかハザードマップなどで確認しましょう。
 - まち歩きなどに参加し、災害危険箇所をみんなで共有しましょう。
- 土砂災害や洪水など災害の種類に応じた避難場所・避難経路を確認しましょう。
- 危険を知らせる気象情報^{※1}・避難情報^{※2}の意味を知りましょう。

アクション2

災害発生の
危険性をいち早く

察知しよう



- 危険を知らせる気象情報^{※1}・避難情報^{※2}を確認しましょう。
 - テレビ（データ放送）、ラジオ、インターネット、防災情報メールなどで、気象情報^{※1}・避難情報^{※2}を確認しましょう。
 - 防災情報メールを登録しましょう。
- 災害発生の前ぶれを見聞きしたら、周りの人に伝えましょう。

アクション3

自ら判断して適切に

行動しよう



- 災害から命を守るために自ら判断して適切に行動しましょう。
 - 避難勧告が発令されたときに限らず、自ら必要と判断したときは、速やかに行動を開始しましょう。
 - 避難場所など安全な場所への移動、屋内の安全な場所での退避など、自らの置かれた状況に応じて適切に行動しましょう。
- 地域住民で助け合って行動しましょう。
 - 住民の安否を確認し、一緒に避難しましょう。
 - 高齢者など災害時に支援が必要な人が安全に避難できるように助けましょう。

アクション4

防災教室や
防災訓練などに参加して、
災害から命を守る方法を

学ぼう



- 学校、職場、地域で行われる防災教室・防災訓練に参加しましょう。
 - 身の周りの災害危険箇所、災害発生の危険性を察知する方法、災害から命を守るための適切な行動について学びましょう。
 - 実践的な行動力を習得しましょう。



アクション5

非常持出品を
準備するなど災害に

備えよう



- 非常持出品などを準備しましょう。
 - 懐中電灯、ラジオ、常備薬、お薬手帳などの非常持出品を準備しましょう。
 - 3日分程度（可能な限り1週間分）の食料、飲料水を備蓄しましょう。
- 建物の耐震化や家具の転倒防止対策を進めましょう。
- 地域住民のつながりを強めて災害に備えましょう。
 - 連絡体制を整えましょう。
 - 高齢者など災害時に支援が必要な人を把握しておきましょう。

事業者の皆様や行政が実施すること

- 災害危険箇所を周知します。
 - 不動産取引や建築確認の機会をとらえ、ハザードマップ等で防災情報を周知します。
 - 防災の専門家を派遣して、災害危険箇所を共有するためのまち歩きなどの方法をアドバイスします。
- 土砂災害や洪水など災害の種類に応じた避難場所を周知します。
- 危険を知らせる気象情報^{※1}・避難情報^{※2}の意味を周知します。

- 迅速かつ確実に気象情報^{※1}・避難情報^{※2}を伝達します。

- 防災情報メール、緊急速報メール、インターネット、テレビ（データ放送）などで迅速・確実に気象情報^{※1}・避難情報^{※2}を伝達します。



- 災害から命を守るための適切な行動の習得を支援します。

- いざという時に、自ら判断して、適切に行動することができるよう、災害から命を守るための適切な行動の習得を支援します。



- 学校、職場、地域で防災教室・防災訓練を実施します。

- 学校で、防災に関する教育活動を行います。
- 防災教育を推進するため教職員研修を行います。
- 分かりやすく工夫した防災教室、実践的な行動力が習得できる防災訓練を実施します。



- 非常持出品などの準備を呼びかけます。
- 建物の耐震化や家具の転倒防止策について周知を図ります。
- 地域住民が互いに助け合い災害に備えることを支援します。
 - 自主防災組織の活動の活性化を促進します。
 - 災害時に支援が必要な人の把握を支援します。



いざという時、
あわてないで済むように
知っておこう！



もしもの時、
すぐに行動できるよう
話し合っておこう！





予防的避難の意思決定の ボトルネック	ナッジ・メッセージの候補
避難することが自宅に残るよりも 心身に負担がかかると判断	「避難場所に行くことで食料や毛布が得られます」 「避難場所に行かないと食料が毛布が得られません」 「自宅に残って被害を受けると救援活動で周囲に迷惑 をかけます」
避難する方がよいことはわかって いても、避難することを先延ばし する「現在バイアス」が原因	「避難勧告が出た場合に、〇〇に避難すると用紙にあ らかじめ書き込ませる」 「いま避難所に行けば寝る場所が確保できます」 「いま避難すれば、水や食料が確保できます」 「あなたが避難しないと人の命を危険にさらすことにな ります」 「率先避難者たれ」
避難しなくても被害を受けない可 能性を高く見積もり、避難するとい うコストを高く感じる「損失回避」が 原因	「身体にマジックで住所と氏名を書いて下さい」 「身元が確認できるものを身につけてください」

少数派しかいない場合の社会規範 ナッジ

- 災害からの予防避難行動を促進するナッジ
 - 予防避難をする人は1～2%→ほとんど人は避難していますという社会規範ナッジは使えない
 - 避難した人は「周囲の人が避難していたから」は事実
 - あなたが避難すると他の人の命を救える
 - あなたが避難しないと他の人の命を危険にさらす

アンケート

- 期間: 2019年2月28日から3月22日
- 対象者: 広島県内在住の満18歳以上の男女10000人
- 4月12日までの回収数5,617(うち有効回収数5,612(回収率56.1%))
- 主な調査内容: 避難促進メッセージと豪雨が発生した仮想的状況のもとで、メッセージを読んでもらい、避難勧告が出された場合の避難行動を問う。
- 郵送する調査票には、6つのメッセージをランダムに付与

- 「あなたは現在自宅で過ごしています。あなたのお住まいの地域では前日から非常に激しい雨が降っており、河川の氾濫や土砂災害の恐れがあります。時間帯は昼間で、避難場所までの移動中の安全性は確保されているものとします。」



2021

名称	メッセージ
A.社会規範、外部性、利他性(利得局面)	これまで豪雨時に避難勧告で避難した人は、 <u>まわりの人が避難していたから避難したという人がほとんどでした。あなたが避難することは人の命を救うことになります。</u>
B.社会規範、外部性、利他性(損失局面)	これまで豪雨時に避難勧告で避難した人は、 <u>まわりの人が避難していたから避難したという人がほとんどでした。あなたが避難しないと人の命を危険にさらすことになります。</u>
C.参照点	豪雨で避難勧告が発令された際には、早めに避難することが必要です。どうしても自宅に残りたい場合は、命の危険性があるので、万一のために <u>身元確認ができるものを身につけてください。</u>
D.救援物資(利得局面)	豪雨で避難勧告が発令された際に避難場所に避難すれば、 <u>食料や毛布など確保</u> できます。
E.救援物資(損失局面)	豪雨で避難勧告が発令された際に避難場所に避難しないと、 <u>食料や毛布などが確保できない可能性</u> があります。
F.コントロール	毎年、6月始め頃の梅雨入りから秋にかけて、梅雨前線や台風などの影響により、多くの雨が降ります。広島県でもこれまでに、山や急な斜面が崩れる土砂崩れなどの災害が発生しています。大雨がもたらす被害について知り、危険が迫った時には、正しく判断して行動できる力をつけ、災害から命を守りましょう。

- 上記のいずれかのメッセージを読んだ後、回答者は、つぎの質問に答える。
- この状況で、避難勧告が発令された際、あなたは1～4のどの行動をとりますか。(○は1つ)
- 1 避難場所へ避難しようと思う
- 2 避難場所や自宅以外の安全な場所(知人や別居の親族宅など)へ避難しようと思う
- 3 自宅の中の安全な場所へ避難しようと思う
- 4 避難しないと思う

ランダム化のチェック



大阪大学



OPEN 2021

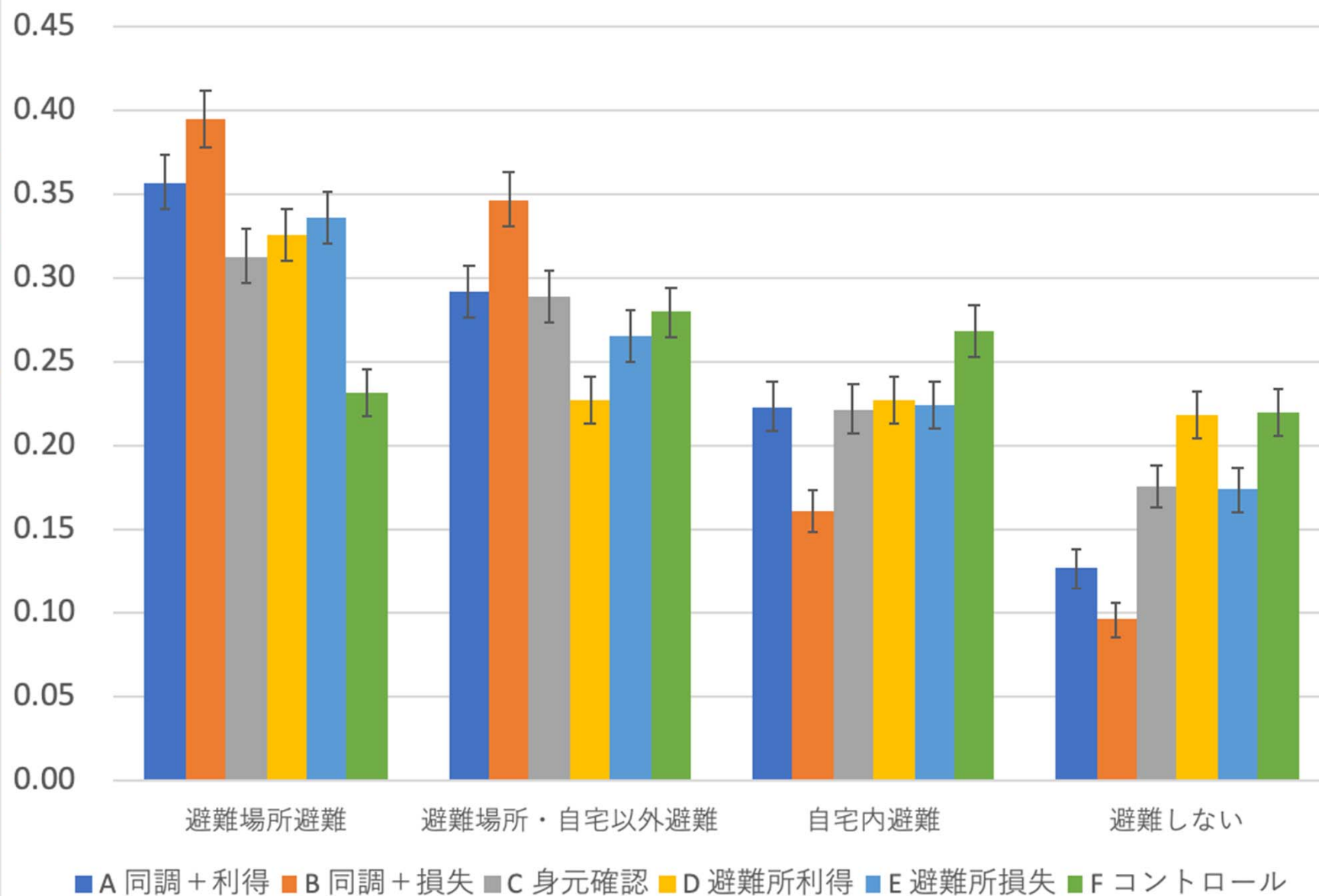
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
	A	B	C	D	E	F	F値
年齢	55.717	54.318	55.246	53.977	54.665	54.776	2.260
	14.637	15.047	14.436	14.997	15.289	15.099	0.075
世帯年収	478.477	469.130	486.025	492.984	468.939	463.348	0.650
	330.450	319.924	341.391	324.245	324.307	314.630	0.662
男性	0.477	0.501	0.525	0.519	0.507	0.511	1.690
	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.500	0.167
教育年数	13.363	13.473	13.389	13.404	13.435	13.519	0.980
	2.353	2.314	2.286	2.374	2.388	2.240	0.444
都市	0.553	0.540	0.578	0.557	0.568	0.569	2.530
	0.498	0.499	0.494	0.497	0.496	0.495	0.051
高齢者(同居)	0.270	0.253	0.240	0.245	0.235	0.263	0.650
	0.444	0.435	0.427	0.431	0.424	0.440	0.663
病人・障がい者	0.209	0.185	0.209	0.223	0.230	0.236	1.46
	0.407	0.389	0.407	0.417	0.421	0.425	0.232
幼児	0.135	0.153	0.154	0.167	0.170	0.136	1.37
	0.342	0.360	0.361	0.373	0.376	0.343	0.266
ペット	0.419	0.436	0.416	0.417	0.427	0.374	1.34
	0.494	0.496	0.493	0.494	0.495	0.484	0.276
世帯人数	2.877	2.937	2.897	3.077	2.927	2.933	2.630
	1.239	1.379	1.381	1.467	1.363	1.328	0.044
居住年数	5.822	24.838	24.815	24.453	25.466	24.697	0.780
	18.851	18.655	18.305	18.082	18.732	18.280	0.571
被災経験	0.399	0.429	0.406	0.374	0.385	0.383	2.880
	0.490	0.495	0.491	0.484	0.487	0.486	0.032
避難呼びかけ経験	0.207	0.241	0.197	0.213	0.205	0.214	1.050
	0.406	0.428	0.398	0.410	0.404	0.410	0.408

記述統計

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
	A	B	C	D	E	F	F値
被説明変数							
避難場所に逃げる	0.357	0.395	0.313	0.326	0.336	0.232	9.810
	0.479	0.489	0.464	0.469	0.473	0.422	0.000
避難場所・自宅以外	0.293	0.347	0.289	0.228	0.266	0.280	5.560
	0.455	0.476	0.453	0.419	0.442	0.449	0.001
自宅の安全な場所	0.224	0.162	0.222	0.228	0.225	0.268	7.650
	0.417	0.368	0.416	0.419	0.418	0.443	0.000
逃げない	0.127	0.096	0.176	0.219	0.174	0.220	30.580
	0.333	0.295	0.381	0.414	0.379	0.415	0.000

メッセージによる避難行動の違い

21



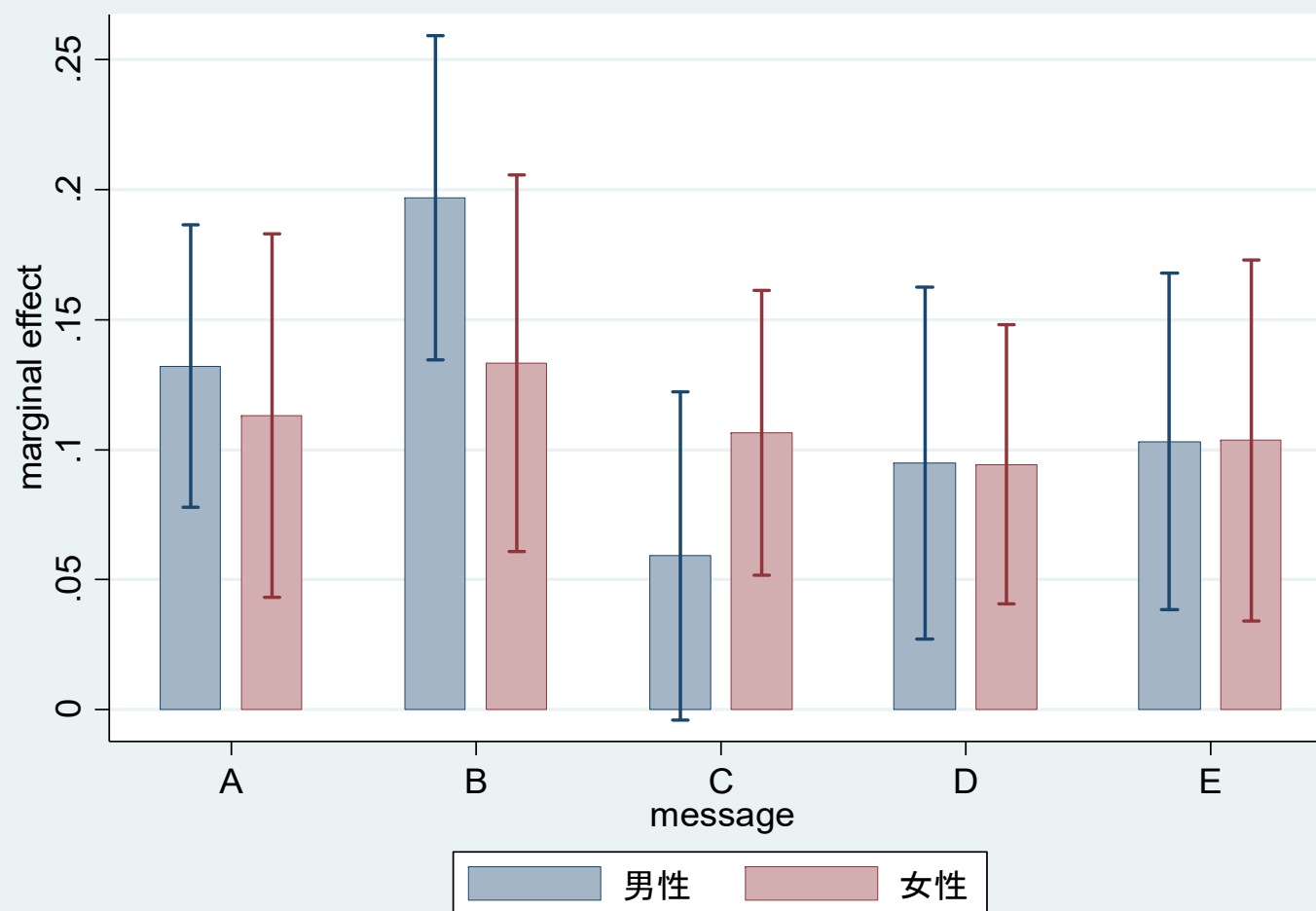
避難所への避難意思

VARIABLES	(1)	(2)	(3)	(4)
A	0.123*** (0.0228)	0.131*** (0.0233)	0.116*** (0.0285)	0.109*** (0.0347)
B	0.161*** (0.0251)	0.170*** (0.0258)	0.149*** (0.0310)	0.146*** (0.0348)
C	0.0816*** (0.0226)	0.0832*** (0.0215)	0.0681*** (0.0239)	0.0610** (0.0272)
D	0.0948*** (0.0234)	0.107*** (0.0226)	0.0788*** (0.0270)	0.0799*** (0.0289)
E	0.103*** (0.0251)	0.113*** (0.0238)	0.106*** (0.0230)	0.0940*** (0.0280)
定数項	0.233*** (0.0169)	0.352*** (0.0772)	0.382*** (0.130)	0.206 (0.133)
個人属性	No	Yes	Yes	Yes
世帯属性	No	No	Yes	Yes
コミュニティ属性	No	No	No	Yes
Observations	5,268	4,874	2,920	2,648
R-squared	0.011	0.025	0.028	0.044
Number of municipalities	30	30	30	30
市町村 FE	Y	Y	Y	Y

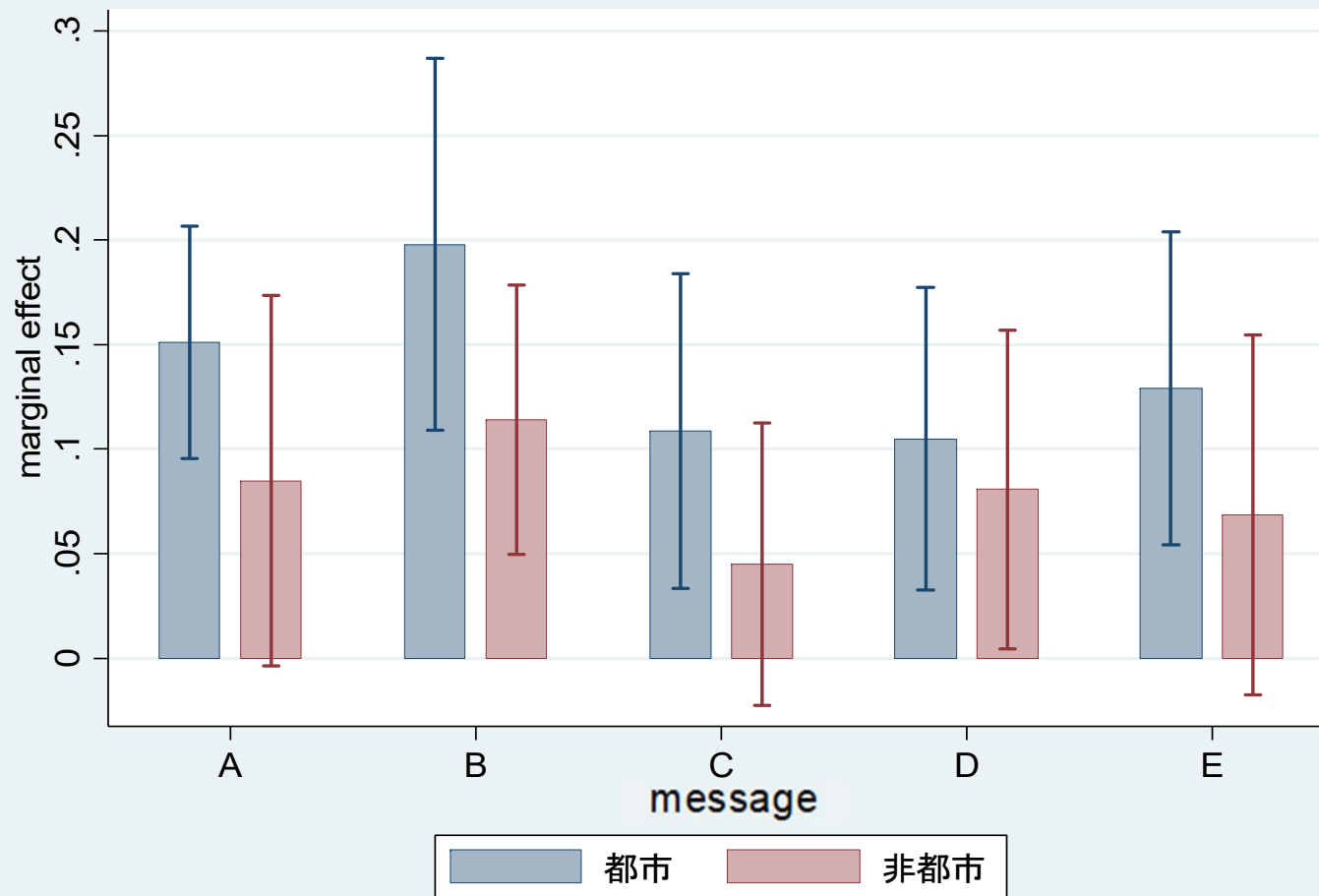
世帯属性などの影響の特徴

- 世帯所得の係数が有意に負
- 病人・障がい者ダミーが有意に負
- ペットの飼育ダミーの係数は有意ではない
- 住居の耐震ダミーと居住年数は正に有意
- 避難訓練の参加経験がある人は有意に避難しやすい
- 過去の被災経験は避難行動に負に有意
- 地域住民への信頼が高いほど避難行動をとりやすい
- 自治会や町内会への参加や、付き合いの有無は無関係

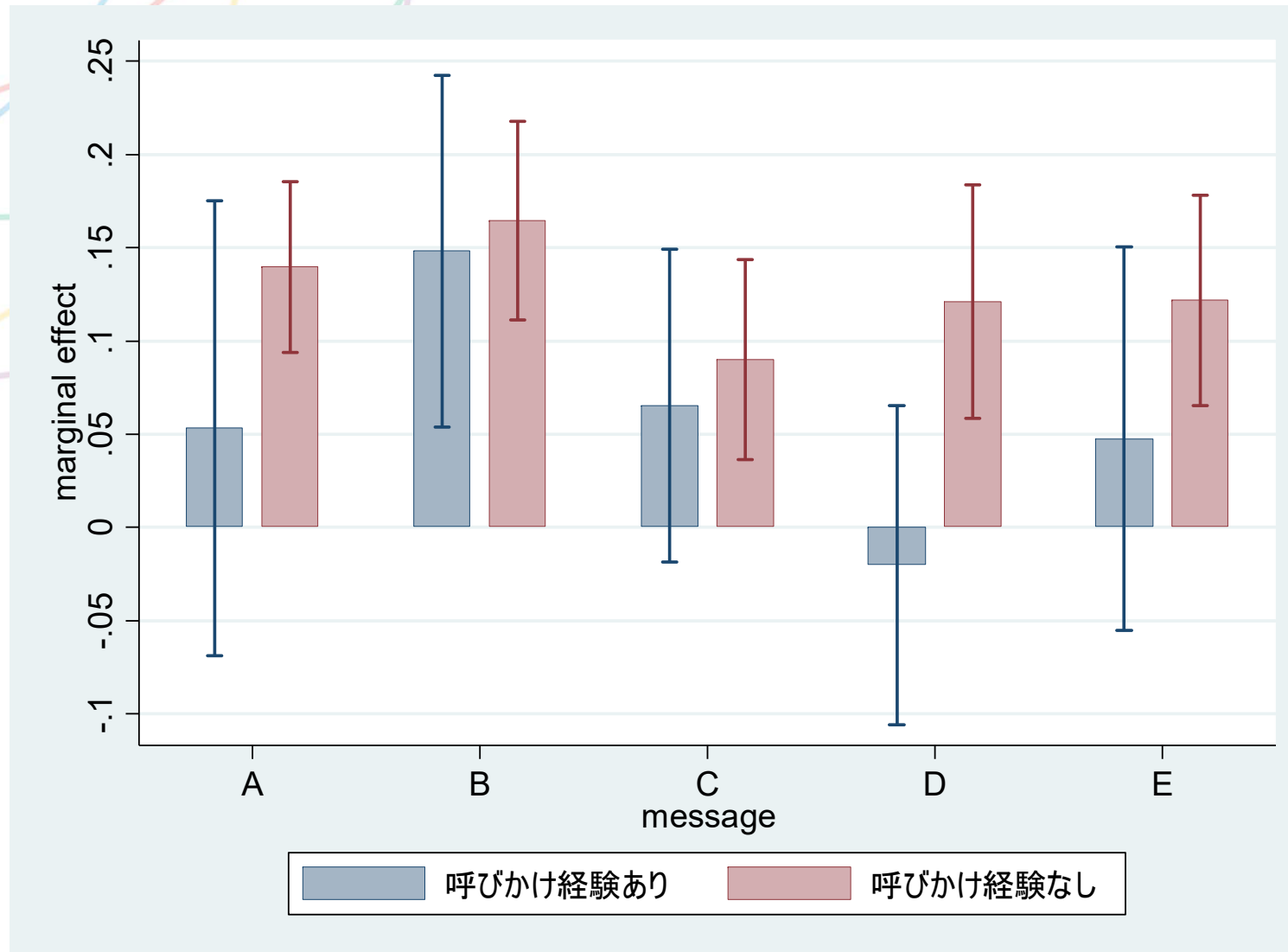
男女別の分析結果



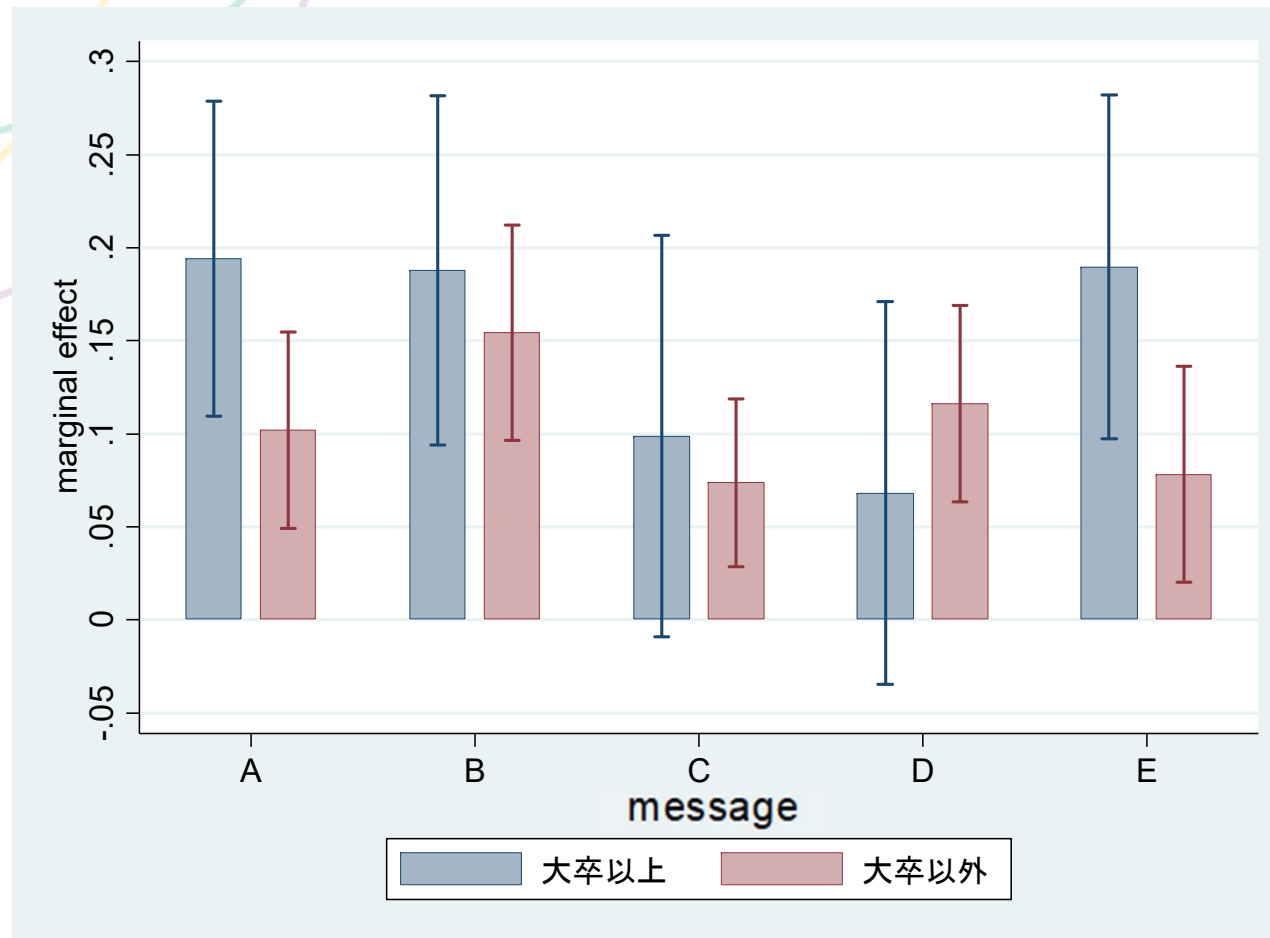
都市部・非都市部



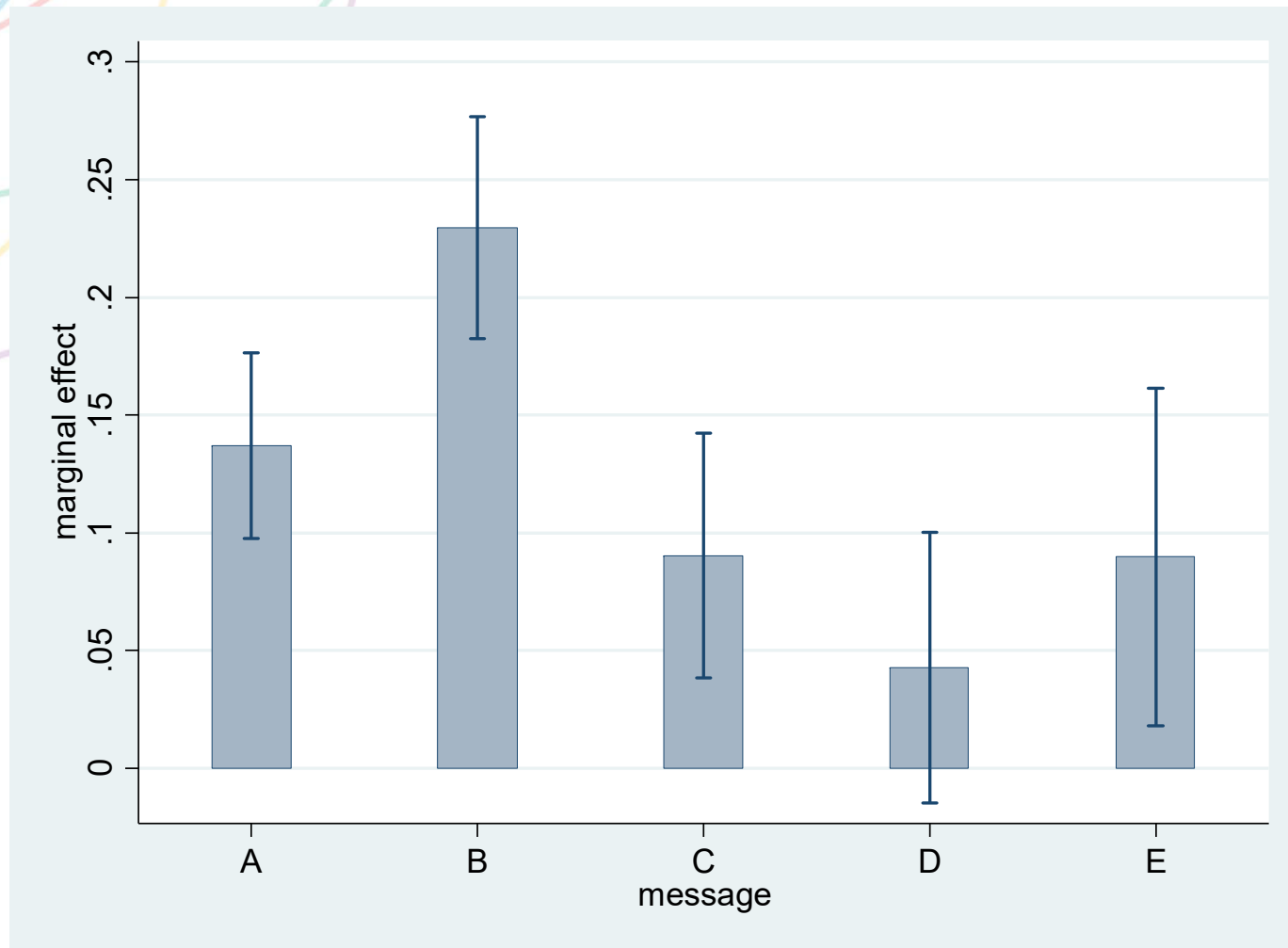
過去の避難呼びかけ行動別



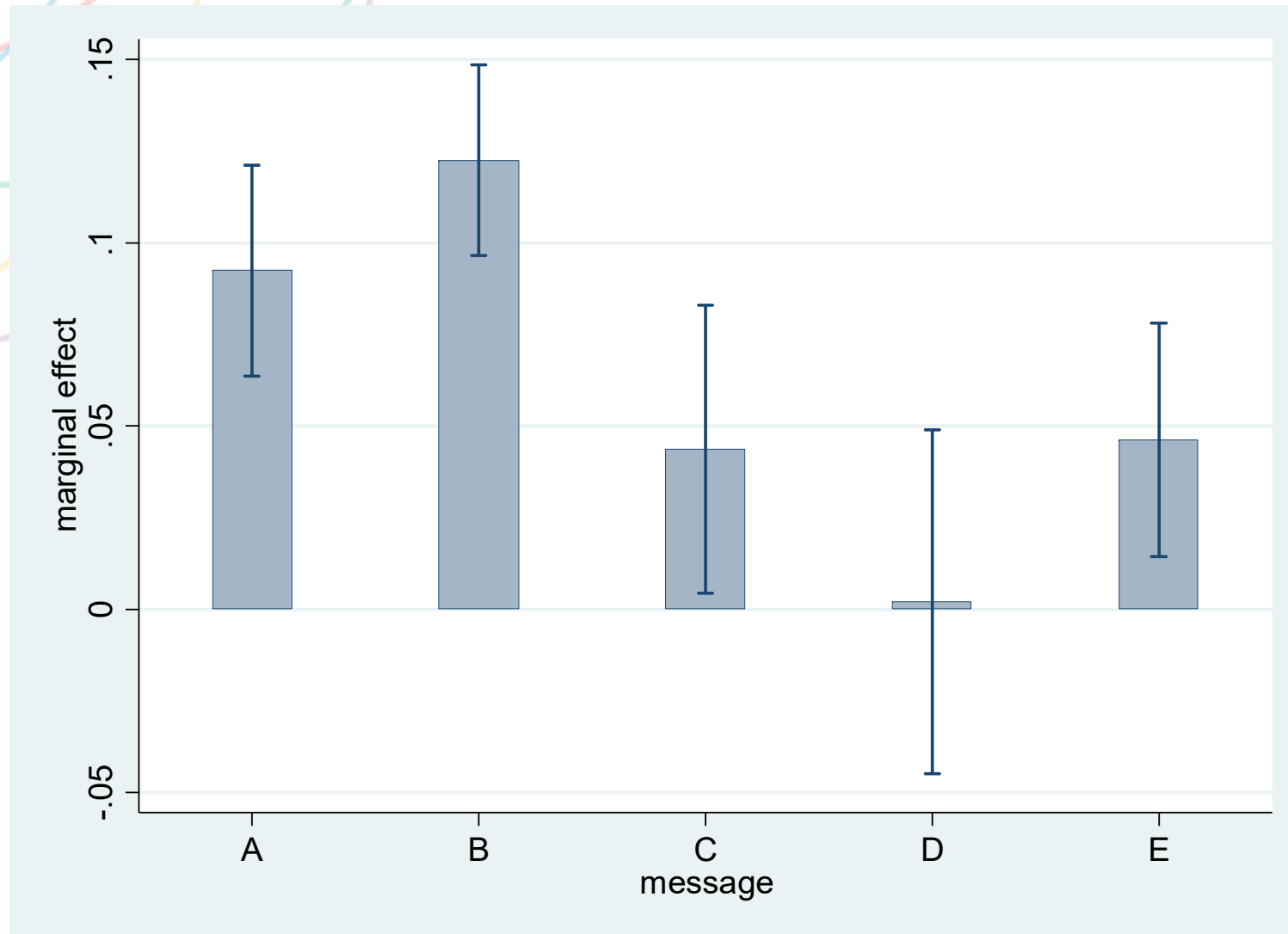
学歴別



自宅外への避難



避難意思の有無



避難の必要性別 (危険地域(不明)&2階以下)

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
避難の必要性	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
A (社会規範+)	0.125*** (0.0259)	0.126** (0.0525)	0.130*** (0.0266)	0.139** (0.0557)	0.122*** (0.0343)	0.109 (0.0750)	0.117*** (0.0396)	0.0988 (0.0896)
B (社会規範-)	0.177*** (0.0303)	0.148*** (0.0506)	0.185*** (0.0300)	0.148*** (0.0456)	0.167*** (0.0350)	0.0994* (0.0541)	0.162*** (0.0393)	0.124* (0.0687)
C (参照点)	0.0828*** (0.0255)	0.140** (0.0520)	0.0837*** (0.0259)	0.152*** (0.0509)	0.0731** (0.0281)	0.144* (0.0792)	0.0678* (0.0344)	0.141** (0.0680)
D (避難場所利得)	0.108*** (0.0260)	0.0992** (0.0483)	0.120*** (0.0255)	0.101** (0.0413)	0.0931*** (0.0292)	0.0349 (0.0712)	0.0976*** (0.0316)	0.0281 (0.0718)
E (避難場所損失)	0.0994*** (0.0262)	0.178*** (0.0551)	0.103*** (0.0255)	0.194*** (0.0516)	0.100*** (0.0224)	0.201** (0.0733)	0.0838*** (0.0303)	0.229** (0.0863)
定数項	0.233*** (0.0183)	0.192*** (0.0338)	0.345*** (0.106)	0.221 (0.223)	0.293** (0.132)	0.629 (0.413)	0.0600 (0.129)	0.532 (0.407)
Observations	3,981	854	3,791	813	2,410	410	2,195	364
R-squared	0.013	0.015	0.025	0.029	0.029	0.047	0.046	0.109
市町村数	30	30	30	30	30	29	30	29
属性	N	N	Y	Y	Y	Y	Y	Y
世帯	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
住宅	N	N	N	N	Y	Y	Y	Y
信頼	N	N	N	N	N	N	Y	Y
経験	N	N	N	N	N	N	Y	Y
地域	N	N	N	N	N	N	Y	Y ₂₂
市町村 FE	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y	Y

地域住民への信頼の有無



	避難場所		自宅外避難	
VARIABLES	(1)	(2)	(3)	(4)
A	0.156*** (0.0476)	0.157*** (0.0493)	0.197*** (0.0585)	0.191*** (0.0557)
B	0.129** (0.0500)	0.148** (0.0554)	0.247*** (0.0513)	0.285*** (0.0472)
C	0.100* (0.0584)	0.0901 (0.0553)	0.0966* (0.0559)	0.0868 (0.0563)
D	0.100** (0.0465)	0.100** (0.0488)	0.00208 (0.0622)	-0.00184 (0.0666)
E	0.101* (0.0558)	0.100* (0.0549)	0.121* (0.0608)	0.0992* (0.0567)
信頼ダミー×A	-0.0479 (0.0553)	-0.0637 (0.0558)	-0.0835 (0.0699)	-0.0630 (0.0708)
信頼ダミー×B	0.0274 (0.0550)	-0.00121 (0.0609)	-0.0492 (0.0756)	-0.0800 (0.0730)
信頼ダミー×C	-0.0451 (0.0643)	-0.0374 (0.0640)	-0.0526 (0.0645)	-0.0221 (0.0663)
信頼ダミー×D	-0.0190 (0.0537)	-0.0261 (0.0552)	0.0461 (0.0721)	0.0615 (0.0781)
信頼ダミー×E	-0.0117 (0.0685)	-0.00695 (0.0703)	-0.0791 (0.0756)	-0.0381 (0.0738)
地域住民への信頼ダミー	0.0755** (0.0330)	0.0646* (0.0329)	0.127** (0.0594)	0.0946 (0.0617)
定数項	0.379*** (0.123)	0.226* (0.120)	0.822*** (0.145)	0.686*** (0.179)
Observations	2,791	2,648	2,791	2,648
R-squared	0.031	0.042	0.047	0.073
市町村数	30	30	30	30
属性	Y	Y	Y	Y
世帯	Y	Y	Y	Y
住宅	Y	Y	Y	Y
信頼	N	Y	N	Y
経験	N	Y	N	Y
地域	N	Y	N	Y
市町村 FE	Y	Y	Y	Y

先延ばし行動の影響

- 「何事も早めの行動を心がけている」「いつも計画を立てたとおりに行動する」「明日に伸ばしても大丈夫なことは明日する」「計画を立てても、ずるずると先延ばししてしまう」という質問に対する4段階での回答を、早めに行動する場合を4、先延ばす場合を1になるように変換。回答者全員の平均の平均値以上の値の人は1をとる「早めの行動ダミー」
- 早めの行動と避難意思は無関係
- 早めの行動と避難経験は有意に相関

先延ばし行動の影響



OPEN 2021

	避難場所		自宅外避難	
VARIABLES	(1)	(2)	(3)	(4)
A	0.136*** (0.0392)	0.133*** (0.0426)	0.165*** (0.0416)	0.178*** (0.0422)
B	0.134*** (0.0409)	0.129*** (0.0441)	0.235*** (0.0552)	0.250*** (0.0551)
C	0.0616 (0.0373)	0.0524 (0.0403)	0.0750 (0.0522)	0.0924* (0.0521)
D	0.0825** (0.0349)	0.0826** (0.0373)	0.0377 (0.0536)	0.0578 (0.0581)
E	0.1000*** (0.0357)	0.106*** (0.0379)	0.0828 (0.0490)	0.0806 (0.0489)
早めの行動 × A	-0.0390 (0.0501)	-0.0596 (0.0476)	-0.0630 (0.0757)	-0.0802 (0.0690)
早めの行動 × B	0.0378 (0.0447)	0.0334 (0.0484)	-0.0448 (0.0849)	-0.0634 (0.0806)
早めの行動 × C	0.0190 (0.0583)	0.0294 (0.0613)	-0.0398 (0.0654)	-0.0566 (0.0638)
早めの行動 × D	0.0133 (0.0556)	-0.00239 (0.0596)	0.00126 (0.0844)	-0.0355 (0.0861)
早めの行動 × E	-0.00782 (0.0660)	-0.0167 (0.0662)	-0.0371 (0.0647)	-0.0160 (0.0635)
早めの行動ダミー	0.0494 (0.0381)	0.0576 (0.0419)	0.0974* (0.0477)	0.109** (0.0457)
定数項	0.350*** (0.117)	0.142 (0.124)	0.771*** (0.109)	0.545*** (0.168)
Observations	2,755	2,615	2,755	2,615
R-squared	0.030	0.047	0.045	0.078
市町村数	30	30	30	30
属性	Y	Y	Y	Y
世帯	Y	Y	Y	Y
住宅	Y	Y	Y	Y
信頼	N	Y	N	Y
経験	N	Y	N	Y
地域	N	Y	N	Y
市町村 FE	Y	Y	Y	Y



大阪大学
SAKAI UNIVERSITY



OPEN 2021

避難経験と先延ばし行動

VARIABLES	(1)	(2)
早めの行動ダミー	0.0362*** (0.0123)	0.0191* (0.0108)
男性	-0.0245* (0.0127)	-0.0178 (0.0109)
年齢	0.00133 (0.00295)	-0.00181 (0.00326)
世帯年収	-3.03e-05 (2.54e-05)	-3.39e-05 (2.26e-05)
教育年数	-0.00193 (0.00300)	0.000292 (0.00297)
定数項	0.163* (0.0859)	0.180* (0.101)
Observations	2,746	2,605
R-squared	0.011	0.198
市町村数	30	30
属性	Y	Y
世帯	Y	Y
住宅	Y	Y
信頼	N	Y
経験	N	Y
地域	N	Y
市町村 FE	Y	Y

まとめ

- 人は周囲の人の避難行動に影響を受けて、避難行動をとる
- このことを知らせることで、自分の避難行動が周囲の人に影響を与えることを認識させる
- このような気付きを与えることが、避難行動を促進させる
- ただし、損失表現は効果が大いだが心理的負担が大いなので、ナッジとしては望ましくない

避難行動を促進する可能性のあるメッセージ「A」、「B」を活用して県民の避難行動を促したいため、この調査結果等を市町及び報道機関を含む事業者、団体が一同に介する「広島県みんなで減災県民総ぐるみ運動推進会議」の議題に上げ、次の検討内容で進めることとなった。

【検討内容】

- 出水期前までを目途に、市町、報道機関等「伝える側」へのメッセージ活用の働きかけ
 - ・NHKのほか、各民放テレビ局、FM局、CATV等を訪問し、メッセージ「A」「B」の活用を働きかけた。[5月中旬]
 - ・メッセージ活用例などを示したリーフレット作成 [6月初旬]
- 大雨などの際の、知事自身による「A」「B」を活用したメッセージの発信
- 地域において、直接住民に避難の呼びかけを行える方へのメッセージ活用の働きかけ

結果の行政への反映方針

6月5日に市町・報道機関用のリーフレットを作成・配布

◎災害時の避難行動を促進するメッセージ

メッセージは、次のとおり、(A)と(B)があります。

○メッセージA

◎ 呼びかけのメッセージ (長文)

「これまで豪雨時に避難した人は、まわりの人が避難していたから避難したという人がほとんどでした。」(46文字)
「あなたが避難すればみんなの命を救うことになります。」(24文字)

◎ 呼びかけのメッセージ (短文)

「あなたが避難することはみんなの命を救うことになります。」(26文字)

○メッセージB

◎ 呼びかけのメッセージ (長文)

「これまで豪雨時に避難した人は、まわりの人が避難していたから避難したという人がほとんどでした。」(46文字)
「あなたが避難しないとまわりの命を危険にさらします。」(25文字)

◎ 呼びかけのメッセージ (短文)

「あなたが避難しないと人の命をさらすことになります。」(25文字)

◎ この呼びかけのメッセージを使用するタイミング

台風の接近や豪雨が予想される場合、かつ、安全に避難ができる明るい時間帯が望ましい。

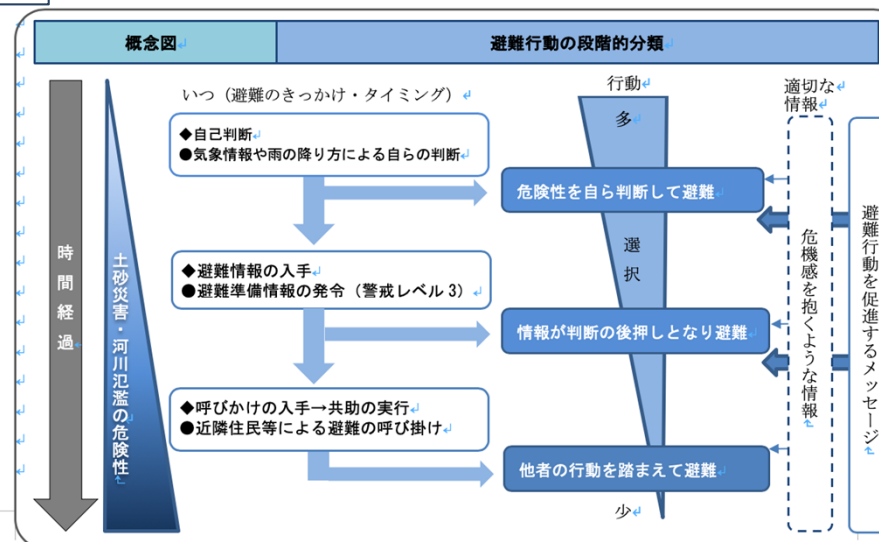
◎ 活用事例

音声による活用

- TV放送によるアナウンス
- FM, AM放送によるアナウンス
- 市町の防災情報無線によるアナウンス
- 県知事によるアナウンス
- 現場(市、県)を結んだTV・ラジオ放送(緊急)

活字等による活用

- TV放送によるL字情報、テロップ
- 県・市町等のSNS(ツイッター・フェイスブック)、メール
- 県・市町・報道機関等のホームページ



◎ このメッセージを有効に使うための工夫

次の文言を追加して呼びかけ

- ① 面接調査により、家族や近隣の人が逃げたほうが良いと強く誘った場合、避難を決めた方も多くいたことが分かったため
⇒「避難情報が発令されている地域に高齢なご家族がいる場合には、ご家族に避難を呼びかけてください」などの情報を追加する
- ② 面接調査により、周りの動きなどで、避難を決めた方も多くいたことが分かったから
⇒「〇〇会社の方は、昼間の安全のうちに全員帰宅させる取組を行っています」などの情報を追加する

・今出水期から、大雨が予測される際、知事からこのメッセージAを用いたコメント発出
・自主防災組織などでも活用できるリーフレットの作成を継続中

◎結果

- 大雨時，知事自身がメッセージ「A」を用いて，避難の呼びかけを発信した際に，報道機関が知事が呼びかけを行った様子を報道している。

— 省略 —

これまで，災害時に避難した人は，まわりの人が避難したからという方がほとんどでした。

「あなたが避難することが，みんなの命を救うにつながります」

地域で声を掛け合って，早めに適切な避難をしてください。

特に，高齢者の方や避難に時間を要する方などは，避難の手段などを事前にご家族や周囲の方々と話し合ってください。

- また，7月20日の長崎の豪雨の際には，報道機関 自らも，このメッセージを用い，避難の呼びかけを行っている。
- さらに，報道機関が作成された，防災ハンドブックの中でも活用されている。

◎ 現場の声など

【地域住民・自主防】

- ・ 昨年の豪雨災害時、実際にこのメッセージに似た内容で、近所の方に呼びかけたところ、避難していただけた。

広島県からの説明を聞き、あらためてこのメッセージの有効性を再確認した。今後、このメッセージを使って行こうと思う。

- ・ 昨年の豪雨時、避難するよう声を掛けたものの、避難しない人がいた。単に「避難しよう」と声掛けしただけでは、避難していただけないことが分かったので、このメッセージを地域で実際に活用できる事例を示していただきたい
- ・ 周りの人たちの行動に影響されやすい、日本人だからこそ、このメッセージの有効性については納得できる。活用していきたい。
- ・ 良好な人間関係が構築できている上で、このメッセージを使うとより高い効果が期待できると思う

【テレビ放送局】

これはいい。少し修正すればもっとよくなる。今後、避難を呼びかける有効なフレーズの一つとして活用していきたい。

【県の担当者】

市町・マスコミ・自主防などへ説明に行くと、活用について前向きな発言をいただいております、実際に活用もしていただいている。

今後も、市町・マスコミ・自主防などと連携し、このメッセージを活用した呼びかけを行い、県民の皆様に確実に命を守っていただくことに繋げてまいりたい。